

令和5年度

第92回全国民生委員児童委員大会（広島大会）

活動交流集会 資料

## 【活動交流集会3】

子育て・子育てを応援する地域づくり

令和5年11月22日（水）

全国民生委員児童委員連合会





---

---

【活動交流集会3】コーディネーター

子育て・子育てを応援する地域づくり

社会福祉法人 至誠学舎立川

理事 高橋 久雄

---

---

令和5年度 第92回全国民生委員児童委員大会（広島大会）

## 活動交流集会3

# 「子育て・子育てを応援する地域づくり」

社会福祉法人 至誠学舎立川

理事 高橋 久雄

## 集会のねらい

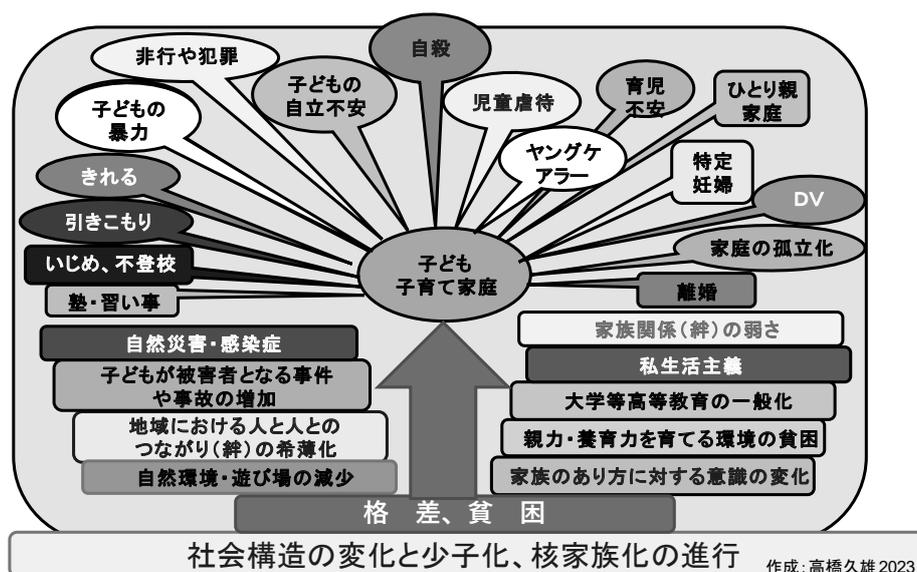
- 子ども・子育てをめぐる環境が複雑化、多様化しているなか、すべての児童委員、主任児童委員にはあらためて、地域の「身近なおとな」として子どもたちに寄り添い、地域住民や関係機関・団体と連携を図りながら、子どもや子育て家庭の支援強化に取り組むことが期待されています。
- 本集会では、産前・産後の切れ目のない支援、フードバンク事業を通じた学校との連携、学校行事に民生委員・児童委員はじめ地域住民が子どもたちと一緒に取り組む活動等の実践事例を紹介しながら、子育て・子育てを支える地域づくりのための民児協や児童委員、主任児童委員の役割等について考えます。

# 児童委員制度創設70周年 全国児童委員活動強化推進方策2017 (2017.12～2027.11)

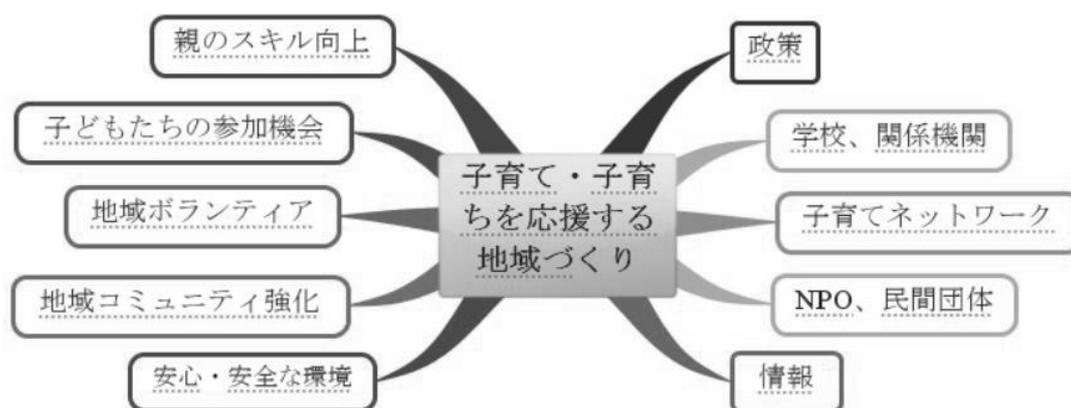
## <重点方策>

- 重点1 子どもたちの「身近なおとな」となり、地域の「子育て応援団」となる
- 重点2 子育て、子育てを応援する地域づくりを進める
- 重点3 課題を抱える親子を早期に発見し、つなぎ、支える
- 重点4 児童委員制度やその活動への理解を促進する

## 子どもや子育て家庭をめぐる現状



## 子育て・子育てを応援する地域づくり

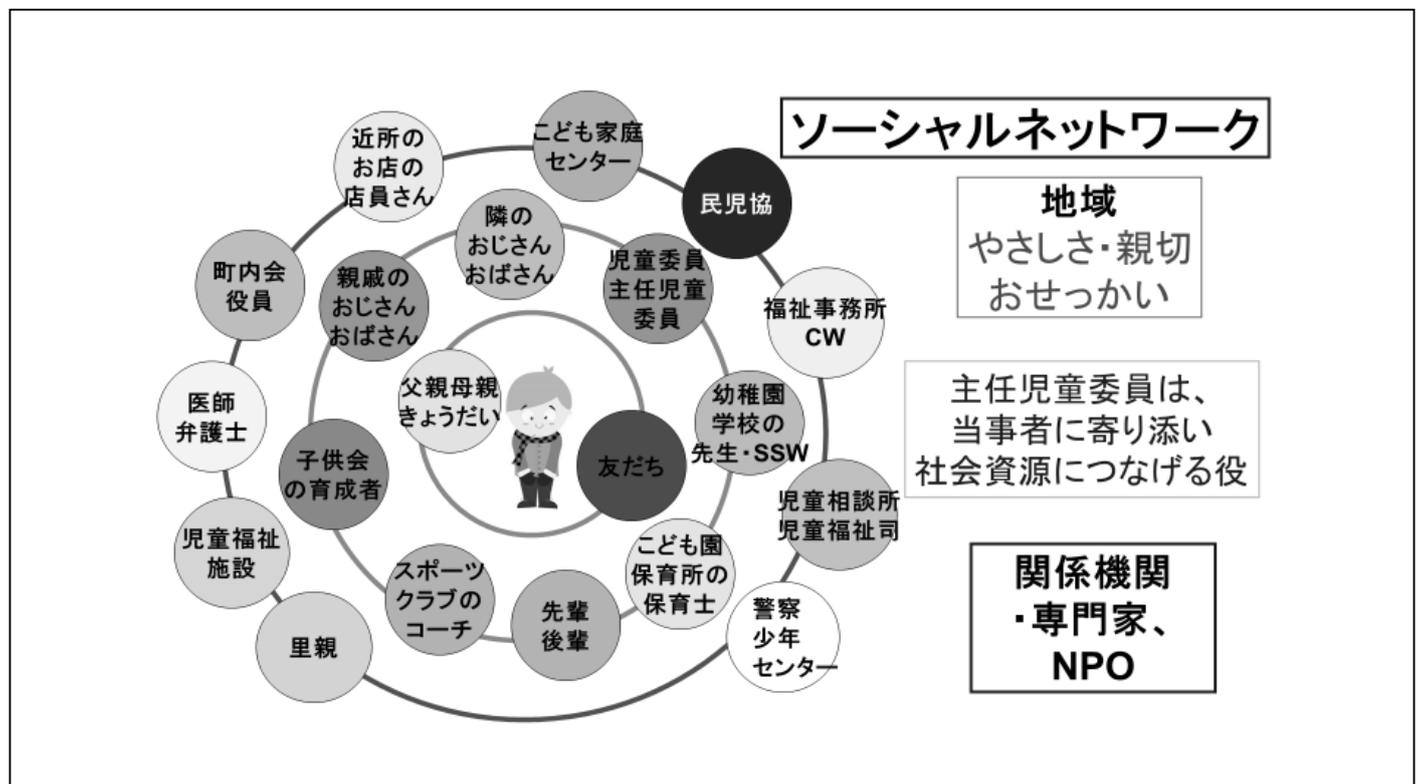


## 子どもや子育て家庭が持っているネットワークと地域の社会的資源とのつながり

- 子どもが抱える課題の多くは家庭状況が反映することが多く、家庭全体への支援なくしては、課題解決は困難といえます。
- そして、その支援を進めるためには、子どもやその家庭を取り巻く関係機関等との連携が不可欠といえます。
- こうした幅広い関係者との連携・協働体制の構築においては、児童福祉を任務とする児童委員の立場だけでは困難な面があり、地域においてあらゆる世代や世帯の支援にあたる民生委員でもあるからこそ可能となる面があるといえます。
- 行政が、きれめのない支援を構築する努力をしていますが、地域のつながりをつくっていくのは、地域住民自身です。そのキーパーソンとして主任児童委員が大切な働きをしています。

## 子どもにとって地域社会は、家庭と同様に生活の基盤となるもの

- 子どもは家族の愛情による絆のもとに生まれ、地域の人々との関係のなかで社会性を身につけるとともに支えられている安心感を得て自立する力を育んでいきます。
- 子どもを育てる家庭にとっても、家族や親族に加えて友人や知人といったさまざまな人のつながりのなかで、子育てを行い、子育ての知識や養育力を身につけていくのです。
- 地域で共に暮らす児童委員の存在と強化方策2017の4つの重点による今後の児童委員活動が、人のつながりを再生し、強め、地域共生社会の実現にも貢献することが期待されます。



## 子育て、子育てを応援する地域づくりを進める民児協、主任児童委員の役割

- 活動をとおして関わった子どもや子育て家族の声を手がかりにどのような仕組みや支援、場が必要なのかを考え、民児協や主任児童委員自身のもっているネットワーク（人のつながり）をとおして発信していきましょう。
- 地域社会には人材や施設、団体など活用できる豊かな社会資源があります。
- 行政への意見具申や市民運動などさまざまな方法で「子育て、子育てを応援する地域づくり」を呼びかけ、仲間を募って実践していきましょう。

## 社会資源を活用する

- ソーシャル・キャピタル  
信頼関係、規範、相互扶助、人的ネットワークなど、人と人や組織などとのつながりを資本・資源としてとらえたもの、社会資本、人間関係資本などともいわれる。(スーパー大辞林3.0)



## 活動の計画を立案する

- 今までの民児協の活動の実績を活かしましょう。
  - 地域の関係機関や施設、団体、企業、地域行事など社会資源にも目を向けましょう。
  - とくに、社会福祉法人には地域貢献が責務化され専門職や設備など連携・協働のよきパートナーとなります。
  - 他の民児協の実践事例などを参考にしましょう。
- 
- 「身近なおとな」や「子育て応援団」となる活動が「子育て、子育てを応援する地域づくり」を進めることに広がり、「課題を抱える親子を早期に発見し、つなぎ、支える」活動や「児童委員制度への理解」を促進することにつながります。

## 事例発表者

- 事例 1 兵庫県神河町民生委員児童委員協議会  
主任児童委員 森本浩子さん
- 事例 2 山口県岩国市美和地区民生委員児童委員協議会  
主任児童委員 政兼るり子さん
- 事例 3 広島市佐伯区観音地区民生委員児童委員協議会  
主任児童委員 岡田 洋子さん

A series of 20 horizontal dashed lines spanning the width of the page, providing a template for handwriting practice.

---

---

【活動交流集会3】事例発表者

ハートがあふれる町をめざして

兵庫県 神河町民生委員児童委員協議会  
主任児童委員 森本 浩子

---

---

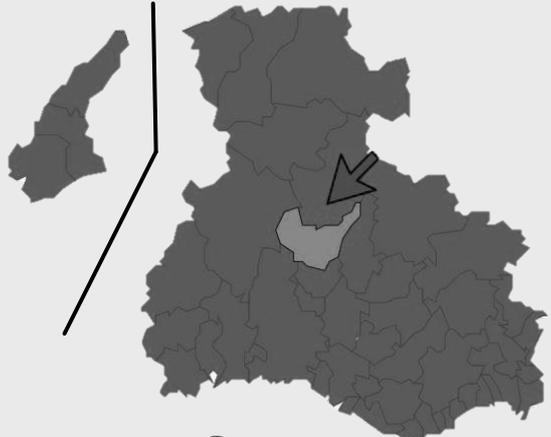


# ハートがあふれる町をめざして



兵庫県神河町民生委員児童委員協議会  
主任児童委員 森本浩子

## 神河町の概要

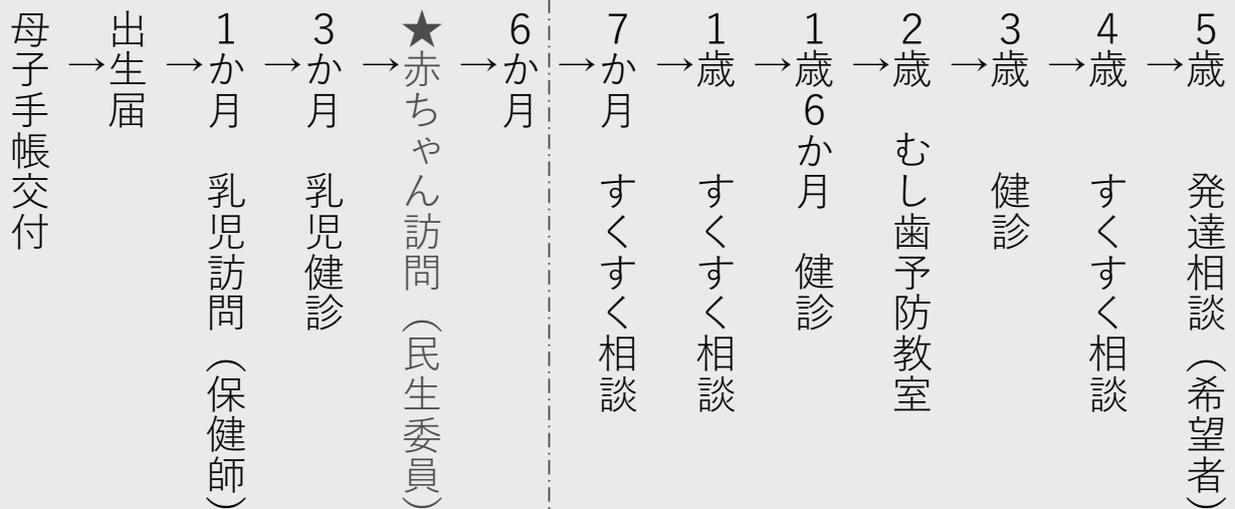
- 
- ・位置…兵庫県のほぼ真ん中
  - ・面積…202.23km<sup>2</sup>（うち80%が山林）
  - ・人口…10,502人（R5.7.31現在）
  - ・特徴…日本で一番新しいスキー場があるなど、自然を活かした観光施設が充実している。
  - ・高齢化率…38.53%（R5.7.31現在）
  - ・保育園2園 幼稚園2園 小学校3校  
中学校1校 県立高校1校
  - ・児童センター 2施設
  - ・民生児童委員36名、主任児童委員2名



神河町マスコットキャラクター  
カーミン

# 38

## 母子保健事業



← プレママcafé →

## プレママcafé（保健師主催）

- \* 開催場所 神河町神崎支庁舎
- \* 開催日 偶数月 第2火曜日
- \* 開催時間 9時半～11時
- \* 内容 助産師 ヨガ  
助産師 妊娠から産後のからだの話  
歯科衛生士 歯のお手入れの話

終了後 交流会、体重測定、育児相談

プレママcaféはお母さんの地域デビューの場所です

## 主任児童委員の活動

プレママcaféでは

- \* 子どもの世話
- \* お母さん同士をつなげる声かけ

主任児童委員は、担当地区がない

強み…町全体の子どもの様子がわかる  
たくさんの研修が受けられる

弱み…手探りで一つひとつ積み上げていかないといけない

# 乳児家庭全戸訪問事業 (こんにちは赤ちゃん事業)

\* 児童虐待による死亡事案は0歳児が圧倒的に多く、出産後すぐに死亡させる事例が目立つ。

\* 国（厚生労働省）は、4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、保護者や赤ちゃんの様子を把握し、そこで気になる親子を発見すれば養育支援事業につなげる。

## 民生委員児童委員による赤ちゃん訪問

\* 地区の赤ちゃんがいる家庭とつながることを目的に実施。

訪問時期 3か月健診時、保護者に民生委員児童委員の訪問を伝える。

定例会 訪問家庭の絵本、調査票を民生委員児童委員に渡す。



# やさしい笑顔とやさしい声を届けよう

ある日突然、民生委員です…と訪ねてこられたら、  
⇒何事かと警戒されます。

民生委員も、訪問のきっかけがほしいのです。  
赤ちゃん訪問で絵本を届けることは、民生委員にとって地区の若いお母さんやお父さんにつながる絶好の機会になっています。



## 2050年

神河町の人口は6000人と予想されています。人口が減少しても元気なまちであり続けることをめざし、ビジョンを作りました。

自然に囲まれて元気に子どもが育つ町

- ・安心して妊娠・出産できる環境づくり
- ・子育て家庭を支える制度・サービスの充実
- ・地域ぐるみによる子育て支援
- ・子どもが自然の中で遊べる環境づくり

---

---

【活動交流集会3】事例発表者

1つの取り組みからつながって、つながって

山口県 岩国市美和地区民生委員児童委員協議会  
児童福祉部会長 政兼 るり子

---

---

# 1つの取り組みからつながって、つながって

山口県岩国市美和地区民生委員児童委員協議会  
児童福祉部会長 政兼るり子

## 山口県岩国市美和町の概要

位置: 山口県の東部にあり、広島県との県境にある

特徴: 平成18年3月に8市町村合併で岩国市美和町となる  
標高150mの山代高原に広がる里山で3つのダム(弥栄・小瀬川・生見川)に囲まれダム湖や渓谷等の自然資源に恵まれ四季折々の自然豊かな町  
特産品の「岸根ぐり」が有名

面積: 127.53km<sup>2</sup>

人口: 3,385人 世帯数: 1,779世帯(令和5年4月1日現在)

65歳以上: 1,694人(高齢化率 50.04%)

美和総合支所 1 市立美和病院 1 文化会館 1

民間医療機関(内科 1、歯科 1) 特別養護老人ホーム 2  
障害者支援施設 1



特産品 岸根ぐり

# 美和地区の子ども・子育て世帯の状況

出生数:令和元年度 12名⇒ 令和4年度 4名

保健センター: 1

認定こども園: 1園 公立さかうえこども園 31名 (令和5年4月1日現在)

小学校: 2校 美和東小学校 48名、美和西小学校 45名

複式学級令和4年度2学級開始⇒令和5年度3学級

児童数 令和元年度 125名⇒ 令和5年度 93名、新1年生令和5年度 10名で今後も推移予定

中学校: 1校 美和中学校 56名

高等学校: 1校 県立岩国高等学校坂上分校 46名

関連施設等

放課後児童教室: 2か所(各小学校側)

公民館 1、図書館(文化会館に複合) 1、公共スポーツ施設(海洋性スポーツ) 1、トレーニングセンター 1

明神原なごみ広場 1

# 美和地区民生委員児童委員協議会の概要

(令和5年4月1日現在)

民生委員児童委員定数: 23名、その内主任児童委員 2名

地区分担: 61自治会を1人の委員が複数地区を担当  
主任児童委員は小学校区を各1校区ずつ担当

定例会: 毎月第2水曜日9:30~11:00、美和老人福祉センター

< 主任児童委員の主な活動 >

児童福祉部に所属し、市全体の会議・研修に出席(年4回)

美和地区生徒指導推進協議会に年2回出席(7・12月)

学校運営協議会に年2回出席(5・2月)

小学校統合準備委員会に出席、支援教室との連携

★朝の登校見守り: 年4回(4・7・9・12月)、随時

★読み聞かせ: 美和東小(金曜日)・美和西小(水曜日)

★美和西小カフェ: 美和西小年2回

★美和中ふるさと交流会: 「新聞アート」担当

※★印は写真で紹介



6月視察研修 熊本県にて

# 主任児童委員活動のひとこま

小学生との対面



★小学校での読み聞かせ



★朝の登校見守り



★美和西小カフェ(保護者と交流会)



★中学校でのふるさと交流会(新聞アート)



# フードバンク事業の取り組み経緯

主任児童委員宛にフードバンク山口から『こども応援宅食便』の周知や希望世帯への仲介依頼あり

主任児童委員間で協議後に民児協会長に報告・相談

●定例会で事業の周知と共有を図り、取り組み内容を協議

定例会で事業趣旨の説明や取り組み内容の共有を図り、以下①・②に関する意見交換や協議を実施

①担当地区における該当家庭の有無について  
②保護者に事業の紹介や同意をどう得るかについて

●意見  
こども園や学校に声かけを試みたらどうか

主任児童委員がこども園・小中学校・高校に訪問  
園長・校長に事業の趣旨を伝え情報共有や意見交換を実施

●取り組みについて学校からの了解あり  
本事業の対象となりそうな家庭の情報を共有いただき、保護者につなぐことが可能との回答あり

学校から主任児童委員に「申込書」の提出あり

●小学校1世帯  
中学校1世帯

フードバンク山口に2家庭の申込書を提出後、利用につながった

## フードバンク事業「こども応援宅食便」の内容

対象：山口県内在住で、学校の長期休み中に食事に困ることが予想される小学生～高校生のいる家庭

役割：主任児童委員が希望家庭とフードバンク山口との仲介役を行う

方法：本事業の対象に該当すると思われる家庭の保護者に本事業のチラシを見せて案内し、利用の同意を得る

↓

同意後に主任児童委員が「申込書」に必要事項を記入し、期日までに申し込む

↓

申し込み後にフードバンク山口から申込み家庭のすべてに食品が宅食便で送付される

1回の申し込みで自動的にその年度内に行われる宅食便(夏・冬・春)が届く

フードバンク山口情報：令和2年度から主任児童委員が仲介の役割を継続中。フードバンクステーションが県下に9か所設置あり。岩国地区は令和5年10月に開設され、子どもから大人までの世帯の利用が可能となった。

## 取り組み実施に向けた民協内での協議内容

フードバンク事業って何？『こども応援宅食便』の事をもっと詳しく知りたい。

長期休み中は給食もなく、子ども達の食事が心配だよね

保護者に対する事業の紹介や利用の同意はどうやって得るか

自分の地区には子どものいる家庭がないが、お手伝いはできるよ



委員が確実に該当家庭を把握するにはどうしたらいいかな

## 取り組みの効果

- ・定例会で「こども応援宅食便」事業の周知を行い、全委員と本事業に関する協議を経て一体感のある取り組みができた
- ・毎年、年度始めに「主任児童委員の顔を覚えてもらおう」と、こども園や学校に出向いての顔つなぎや、機会あるごとにつながることで、こども園や学校の理解や協力を得て2家庭の利用につながった
- ・定例会において主任児童委員から研修や会議で得た情報、地域の子育て情報等を発信することで他の委員とつながりやすく、協力が得やすくなった

委員が学校等に出向く機会が増え協力が得やすくなった  
(学校給食試食会、行事参加)

視点を変えての関わりでつながりが深まった  
(まずは学校やこども園に地域の情報を提供してみる)

## 今後の課題

来年度の小学校統合(2校が1校)に向けた準備が進む中、今以上に学校や地域の関係機関や団体とのつながりを持ち、地域の子育て応援団の一員として他の委員と共につながりをどう継続していくか

小さな町だからこそ出来る子育て世代とのつながりを大切にしたい子育て支援の取り組みが今後も必要

支援者にも支援の手がいるよ  
僕たちの手もかそうかにゃ



---

---

【活動交流集会3】事例発表者

子どもとともに「岡の下川シジミ再生プロジェクト」シジミの植え付け

広島市 広島市佐伯区観音地区民生委員児童委員協議会  
主任児童委員 岡田 洋子

---

---

子どもとともに

## 「岡の下川シジミ再生プロジェクト」

### シジミの植え付け



広島市佐伯区観音地区民生委員児童委員協議会  
主任児童委員 岡田 洋子

## 広島市佐伯区の概要

### ○位置

広島市の西部（廿日市市に隣接）

### ○特徴

南部：交通網が充実し、にぎわいある  
まちづくり

北部：恵まれた自然資源を有する

### ○面積

225.43km<sup>2</sup>

### ○人口

140,622人（R5.4.1現在）

### ○地形

南部：八幡川沿いに広がった平野部

北部：太田川水系水内川が貫流し、  
平地に集落が点在



## 観音地区民児協の概要

- 民生委員・児童委員 15名
  - 主任児童委員 2名
  - 民生委員協力員 2名

○自然と街が融合する地区  
山沿いに多くの宅地が造成され、地域の一部には、  
棚田やため池など田園風景が残っている。

- 地形  
岡の下川（二級河川）
- 小学校 1校 ※児童数659名(学年平均4クラス)
- 大学 1校
- 公民館 1館



## 観音地区民児協と小学校のつながり



登下校のあいさつ運動

- 1年生・・・昔遊び
- 3年生・・・安全マップ作り
- 4年生・・・シジミの植え付け
- 5年生・・・野外活動
- 6年生・・・1人暮らし高齢者訪問



‘見たことはある人’から、  
“近所のおじさん・おばさん”へ。



2005(平成17)年から続けている



## 「岡の下川シジミ再生プロジェクト」

### シジミの植え付け について

- ・なぜこの活動が始まったのか
- ・実際の活動内容
- ・活動の効果

## 【岡の下川シジミ再生プロジェクト】なぜ始まったのか？

2004(平成16)年のこと

昔、岡の下川にシジミが生息していた。もう一度戻したい



地域住民による『シジミ復活計画！』



小学生も巻き込んで始める



# 岡の下川



7月...とある日の 午後4:00



7月...とある日の 午後6:40

## 実際の活動内容



雨にも負けず、  
6月にシジミを  
植え付ける。



7月や9月に  
クリーン作戦  
&生き物探し  
体験することで  
身近に環境問題を  
感じる。



子どもたちから、  
お礼の手紙が届く。

# 活動の効果

## 子どもたちとの関係

- ・ 登下校の見守りで「顔は知っている人」の関係から「身近な大人」になった。
- ・ 子どもたちから、地域で声をかけられるようになった。

## 地域との関係

- ・ 保護者世代にも民生委員・児童委員の認知度が高まった。
- ・ 『シジミの研究』として地域の大学にも参加してもらい、つながりをもつことが出来た。



### 五日市観音ネットワーク

人の輪が広がる街～五日市観音～

